

事務 事業名	コード1	0280	収税事務費		課	税務課				
	コード2	①	コンビニ収納事務		所属班	収税班				
			☒ 主要事業		電話番号	62-5322	内線	183		
政策 体系	基本方針	6	共につくる夢のあるまちづくり		予算科目	会計		款	項	目
	施策	5	健全な財政運営			一般会計		02	02	02
	施策の展開	1	健全な財政運営							
	基本事業	386	納付窓口の拡大		根拠法令	特になし				

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 23 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	市税(市民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税)の納付の利便性の向上を図るため全国のコンビニストアで納付をできるようにした。 【業務の流れ】 課税 ― 納付書の発行 ― 各コンビニで納付 ― コンビニ本部で集計 ― 地銀ネットワークサービスより納付状況の連絡 ― 税務課で収納消込作業

(2)トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
コンビニ収納手数料								
一般会計 収納代行業者基本使用料 63千円								
納税通知書コンビニ取扱い分 1,403千円 計1,466千円								
国保会計 納税通知書コンビニ取扱い分 559千円 計 559千円								
② 延べ業務時間の内訳								
コンビニ収納分消込作業 72h								
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	0	2,025	3,723	0	0
	正規職員従事人数	人			0.04	0.04		
	延べ業務時間	時間			72	72		
人 件 費	人件費計(B)	千円	0	0	274	274	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	2,299	3,997	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) コンビニを利用した市税の納付	ア 納付件数	件	—	—	33,360	62,000		
目的	24年度計画(24年度に計画している主な活動) コンビニを利用した市税の納付	イ 納付金額	千円	—	—	531,159			
		ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	市税の納税者	ア 口座振替を除く納税者)	人	56,034	55,688	58,727			
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	日中に仕事等で納付出来ないまたは、近くに指定金融機関等が無く、納付機会の少ない納税者や、市外の納税者がコンビニで納付するようになること	ア コンビニ納付額	千円	—	—	531,159			
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	納税者の納付の利便性による徴収率の向上	ア 市税徴収率の向上 (現年度課税分 5/31現在)	%	93.26	93.09	94.02	94.13		
上位目的		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
納税者の勤務時間等の多様化に即した納税窓口の開設が必要になった。	導入前に予想した利用件数に対して半分程度の利用に留まった。	納期限から2カ月しか納付書が使用できないため、納付にいても取れなかった等の連絡が、納税者からあった。

事務事業名	収税事務費 コンビニ収納事務	課名	税務課	班名	収税班
-------	-------------------	----	-----	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 市税の納付窓口が、市役所・金融機関・郵便局のほか新たに全国のコンビニで市税の納付ができるようになった。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 口座振替以外の人の利便性が向上する。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市税の納付に対し、納税者により多くの納付機会を提供するためには、実施すべきである。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 窓口納付の件数が減少した。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 コンビニでの納付窓口は始まったばかりであり、今後PR活動が必要である。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 コンビニは全国どこにでもあり、また営業時間も非常に長いので、納税者の納付機会の拡大には最適である。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 委託業者が限られているため、千葉県内で実施している市町の委託額は同じである。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 収納分の消込作業なので削減はできない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市税の納付者であれば誰でも利用できるもので公平である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 当初予想していたより利用者が少なかったため、コンビニ納付の利用者の増加を図る。
--	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止			(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①口座振替の推進をすると共にコンビニ納付を含めた納付機会の拡大を図る。 ② ③ ④																								
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①コンビニ納付利用者の拡大にあたり、コンビニ店等へのポスターやのぼり等の掲示の協力が必要である。 ② ③ ④																								